

普及活動情勢報告（令和元年5月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

ユズ整枝は骨格枝の先端を強めに！

・・・三原村新規就農者現地指導・・・



4月23日、三原村農業公社のリースユズ園で、今年度の新規就農者に整枝剪定と今後の防除計画などを現地指導しました。新規就農者は複数の園地を借り受けているため、樹形が完成していても、樹勢が弱いため、骨格枝先端の切り返しや摘蕾が必要な園もあり、開花期防除の適期もばらつきがあるので、各園に応じた管理を強調しました。

弱勢樹の整枝剪定は、理解しにくいようですが、防除は順調に励行されています。農業改良普及課は今後も園地の状態や就農者の労力を考慮した管理を指導していきます。

グリーンレモン産地化へ向けて

・・・施設レモン現地検討会・・・



4月24日、黒潮町のレモン生産者ほ場4カ所で現地検討会を開催し、14名が参加しました。

現地検討会では、定植年数の異なるほ場を巡回し、年数に応じた栽培管理について検討を行いました。新たに定植する人もいるため、先輩農業者の失敗例や栽培のポイントについて共有しました。農業改良普及課は、レモンの特性や主要病害虫、RACコードの活用について情報提供を行いました。生産者から、「RACコードについて知らなかった、農薬を選ぶ時に活用してみる」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会や勉強会を通じて生産者の栽培技術向上に向けて支援していきます。

良い文旦果実を作るのはまず授粉から

・・・第1回女性農業者勉強会・・・



4月25日に宿毛市宇須々木で、女性農業者の勉強会を開催し3名が受講しました。文旦の生産にとって発芽率の高い花粉の確保は重要な課題です。その授粉用花粉の精製方法と貯蔵方法のポイントについて学習しました。

参加者はなぜ小夏の花粉なのか、どうして貯蔵花粉の発芽率に差が出るのかなど、小夏花粉の精製方法と貯蔵のポイント等について熱心に受講していました。

今年はこのような基礎栽培技術について学習会を5回開催し、女性農業者の技術力向上に取り組んでいきます。

「食」で地域を元気にするために・・・黒潮町佐賀北部食部会と大月町カフェ姫の里・・・



5月8日、黒潮町集落活動センター佐賀北部食部会のメンバーが、6名大月町姫ノ井集落活動センターカフェ「姫の里」の視察研修を行いました。2月から始まったランチを試食した後、代表者から取り組みのきっかけやメニューの選定、カフェの運営、季節限定の食材の保存方法等の説明がありました。

農業改良普及課からは、両組織に対して調理場の衛生管理方法や料理の原価計算等について情報提供を行いました。

今後も両組織の活動促進と組織間連携について支援を行います。

酒米の安定生産を目指して

・・・大宮酒米栽培講習会・・・



5月11日に西土佐大宮地区で酒米の栽培講習会を開催し、農家6名が参加しました。

講習会では、土づくりや施肥の注意点、病虫害防除（特にいもち病）の喚起や、ほ場準備から栽培初期の管理についての説明を行いました。参加者からは、苗質、施肥量や代かきの程度についてなど熱心な質問が出されました。

農業改良普及課は生育ステージに応じて現地検討会等を実施し、酒米の安定生産に向けた支援を行っていきます。

土佐文旦の品質向上のため授粉力を高めよう・・・J A高知県大方支所カンキツ部総会・・・



5月13日、大方支所カンキツ部会の総会において、土佐文旦の受粉に関する講習会を開催しました。

土佐文旦の品質向上には、授粉用小夏花粉の精製技術を高め、高い発芽率を保つ必要があることから、小夏の花蕾採取から花粉の精製、効果的な授粉作業の方法等について講習しました。

生産者の中には、授粉作業を行った事がない人もおり、「来年は授粉を行いたい。発芽調査をして欲しい」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、部員の増加や部長の若返りで活気があるこの部会に対して、栽培基礎技術の習得を中心に支援していきます。